

鳳 中学3学年通信 SCRUM 2024年度

2024 (R6) 9, 2 No, 7

これからの学習は、遊びや部活動に代えてでも打ち込む「**価値**」があり、将来の自分にとって、たいへんに大きな「**意味**」をもってくる！

か。さて、3年生にとっての2学期はどんな学期なのでしょう？ 私は様々な意味で「**真価が問われる**」学期だと思っています。



「**こそぞ！**」という時に力が発揮できる、そういう集団であり、そういう みなさんであって欲しいと 心から願っています。これからの日数を どう捉えるのか？ 「まだある」と考えるのか？ それとも「これだけしかない」と考えるのか？ 物事は考え方ひとつで結果も変わってくるものです。

将 来 を 選 択 す る

いよいよ「**進路選択**」の 学期の始まりです。希望進路の実現に向け、より一層気を引き締めて臨んでほしいと思います。「**進路選択**」とは、「**将来の生き方**」を考え、全力をあげ、「**進む路 (みち)**」を決めることだと考えています。中学3年にとって、難しいことではありますが、自分に今できる精一杯の努力の中で考えてほしいと思います。学校では、2学期頑張してほしいこととして、次の二つの点について話をしていきます。



真価が問われる

夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。今回の夏休みは、おそらく今までの夏休みとは違ったことでしょう。

きっと、多くの人が「何かに追われている…」そんな思いを感じながら夏休みを過ごしたと思います。



でも、それで良いのです。むしろそうでなくては困ります。「**己の意志で進路の選択をするとき**」が目前に迫っています。準備は万全にしておくべきです。

みなさんどうですか。悔いを残さない夏休みが過ごせましたか。



① **懸命に学習に取り組む** ⇒ 夏休みまでは復習に力を入れる時期でしたが、2学期からは実力を蓄える時期になります。個々の実力を高めるための、**実力テスト**（9月・12月）と、成績につながる **定期テスト**（9月・11月）があります。次から次へとテストがありますが、**普段の授業や家庭学習を大切にすることが実力を蓄える**ことに繋がります。真剣に取り組んでほしいと思います。



② **生活リズムを確立する** ⇒ まず、夏休みの生活リズムから、1日でも早く学校生活に合った生活リズムに切り替えてほしいのです。また、2学期は1年の中で一番長い学期になります。学期初めの緊張感が途中でゆるみがちになり、大きく向上するチャンスを失ってしまいかねません。それを防ぐためにも、生活リズムの確立が大切になります。日頃から、**服装・頭髪などの身だしなみ、きちんとした挨拶、正しい言葉遣い、遅刻しない等の「時間を守る」といったメリハリなど、基本的な生活習慣の確立が緊張感の持続に効果がある**ので、意識してほしいと思います。



ご家庭でもぜひお話していただけるよう、よろしくお願ひします。進路選択に向け「**進路希望調査**」を記入する時だけでなく、お子さんと日頃から進路について話す時間をつくっていただきたいと思います。その際に、保護者の方の「**経験談**」や「**思い出話**」をしていただくと、きっと進路選択の助けになることと思います。



縦 割 り の 意 義

本校の生徒会行事の特色の一つに「**縦割り**」があります。学年の枠をといて、各学級団でチームを作り、取り組んでいく。縦割りの意義は「**つながり**」だと思います。しかし、そのつながりには二つの意味があることを分かっていますか？
一つは、「**今**」「**ここ**」にいる私達のつながり。3年生がリーダーとなり、現在の縦割りをつかった仲間意識を深めていく。それはとても大切なことだと思います。もう一つの意味は、「**未来へのつながり**」です。2年生は練習を切り盛りする3年生の姿から、後期自分たちが中心となって学校を盛り上げていくのだということを学んでほしいですし、1年生はもう完璧な生徒会の一員としての自覚を持って、自ら行事に取り組んでほしい。そのメッセージを3年生から発信していく。つまり、今取り組んでいる縦割りは「**未来へとつなげる取り組みである**」ということを知覚して、3年生には下級生に関わってほしいと思っています。

前期の終わりに3年生として、まず各自の「**凡事が徹底**」できているのかを再確認して欲しいと思います。例えば、「**期限を守って提出する**」「**3分前着席をする**」「**身の回りの整理整頓をする**」など、学校生活の中では『**できてほしいこと**』があります。全体を見渡してみると、まだ徹底できていない状況に気が付くでしょう。「**進路に関する提出物**」を含め、誰かに言われてようやくできるのではなく、**自分で情報を整理して動くこと**がここから先には必要なのです。気持ちも新たに後期を迎えるべく新しい役割を担った君たち。社会の一員として、学校の最上級生として『**人任せにする**』ことから脱却し、『**自分自身に何が出来るか**』を考えて**貢献**する。そんな学校生活を送ってほしいと願っています。

